

議案第 23 号、令和 7 年度多賀城市一般会計予算から、議案第 28 号、令和 7 年度多賀城市下水道事業会計予算まで、公明党多賀城市議団を代表して、一括して賛成討論を行います。

甚大な被害をもたらした東日本大震災発災から、3 月 11 日で、14 年を迎えます。また、昨年 1 月 1 日に発生した能登半島を震源とした地震、更に岩手県大船渡市で、発災した山林火災において、被災された全ての皆様にお見舞い申し上げますとともに一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

さて、ここ数年の物価高騰の影響を受けて、市民生活や地域経済は、より一層厳しい状況に置かれています。市民生活にこれ以上影響をもたらすことのないよう様々な困難の難局を乗り越えるため、深谷市長中心に総力をあげた取り組みを引き続きよろしくお願いいたします。

令和 7 年度は、第六次多賀城市総合計画の 5 年目となります。
予算の特徴は、将来都市像として掲げた「日々のよろこび ふくらむ まち 史都 多賀城」を実現するため、その基本構想において大きなまちづくりの方向性として、「心も暮らしも豊かなみらいをつくるみ

んなが育つまち」「震災の経験をいかし、みんなの力がつながるまち」

「市民の誇りとなる多賀城らしい魅力をたがやすまち」の3つのテーマを掲げ、一般会計304億5千万円、特別会計総額116億267万2千円、企業会計総額72億9348万2千円、全会計総額493億4615万4千円の過去最大の予算となりました。

令和7年度において重点的に取り組む事業として45事業を掲げました。

防災情報管理事業は、市民の皆様の生命と財産を守るため、改訂した防災ハザードマップに対応した避難所標識やデジタルサイネージを活用した避難所誘導標識を整備して、多賀城市防災情報アプリの更なる普及に努めながら市民一人ひとりに防災に関する情報を迅速かつ的確に伝える体制をお願いします。

市庁舎耐震対策等事業は、市庁舎の津波浸水対策を主眼に置き、西庁舎の大規模改修工事とともにエントランス棟増築工事を実施し、災害時の拠点として安全・安心に利用できるとともに、エントランス棟では障がい者就労施設の皆様が移動マルシェを引き続き実施できる取り組みと、市役所に訪れた市民の方々が喜んでいただけるロビーコンサート等の開催ができるように推進をお願いします。

健康診査事業は、一般質問でも要望をしておりました胃がん検診において胃内視鏡検査の追加を目指し、早期発見の向上、推進に努めていただくよう期待します。帯状疱疹ワクチン予防接種は国の定期接種化となりますが、自己負担額を近隣の二市三町で同じ金額とし、更に市民の健康を守ることから、接種しやすい料金の検討をお願い致します。

中央公園魅力創造事業は、民間事業者のノウハウを取り入れ、中央公園の更なる魅力向上を図るため、「公募設置管理制度(Park-PFI)および指定管理制度」を活用した整備を行うにあたり、秋ごろのオープンを目指し、多賀城南門を核とした歴史文化と多賀城ならではの自然に親しむことができる魅力ある公園の整備の取り組みに期待します。

生活交通ネットワーク維持事業は、市道留ヶ谷線沿線の「地域の足」と自然・歴史・文化ゾーンへ来訪する方々のアクセス向上を図るため、令和6年6月から新ダイヤでの運行開始し、運航が拡大したことから利用者から喜びの声が届いております。

高齢者の利用者からは、スマートフォンを持っていない高齢者も、持っている方と同じように無料で利用できるよう「無料パス」等を発行する取り組みをお願い致します。

創業支援事業(多賀城みらい塾)の取り組みについてですが、市内で創業を希望する方などを対象に、創業セミナーや創業スクールを実施し、創業者自身の想いを実現できる支援を行うことは、新たな多賀城の魅力と賑わいの創出することに繋がります。さらに創業支援補助金を交付し、創業前から創業後まで専門家等による切れ目ない適切な助言等が受けられる体制として、引き続き多賀城・七ヶ浜商工会と連携をはかりながらの取り組みをお願い致します。

市民文化創造推進事業は、多賀城創建 1 3 0 0 年を契機として取り組んできた多賀城固有の歴史文化資源に様々なジャンルの文化芸術・アートを掛け合わせて、新たな価値を創出するプログラムを継続するとともに、これらの取り組みが市民文化として紡がれていく未来を創る人財を育む「みらい創造ラボ」の実施を大いに期待します。

認知症高齢者見守り事業は、認知症の人やその家族が安心して生活できるよう、

「ひとりあるき」により行方がわからなくなった場合でも、早期の発見および保護につなぐため、二次元バーコードを用いたシステムを継続し、その普及・啓発の取り組みを評価致します。

また、その他の新規事業や継続事業などの着実な事業運営により、市民生活の向上と福祉向上に資することを、大いに期待申し上げます。

また、一般質問で要望しておりました市内中学校吹奏楽部の楽器購入および修理費用として、昨年度に引き続き、1 2 5 0 万の予算計上は、吹奏楽部活動の充実につながり、新しい楽器を手にした生徒の喜ぶ笑顔が目に見えます。子どもたちの夢や希望を叶えた深谷市長の英断を高く評価致します。

令和 7 年度の予算は、物価高騰の影響を受けている学校給食の食材費につきましては、保護者の負担増を抑制しつつ、児童生徒の成長に必要な栄養価の摂取が損なわれることがないように、令和 4 年度から引き続き、物価高騰に伴う食材費の増額分を補填し、保育所等にも食材費や光熱費の物価上昇額を補助する取り組み、

さらに市内運送事業者への支援金支給事業の取り組みも評価致します。

割増し商品券事業は、多くの市民や事業者からの要望もありますので、課題はありますが実施できるように、取り組みの検討を引き続きお願い致します。

第 6 次多賀城市総合計画に掲げた「日々のよろこび ふくらむまち史都 多賀城」の実現に向けて、深谷市長が公約に掲げた「日本で一番暮らしやすいまちづくり」の実現を目指し、市長のリーダーシップを如何なく発揮され、まちづく

りが、大きく前進し、多賀城の新たな文化観光の 1 年となりますようご期待を
申し上げ、賛成討論いたします。